

【事業内容】

<p>1. 事業実施の概要</p> <p>テーマ：「孤独・孤立対策を行うNPO等の担い手育成と活動基盤強化」 事業名：「気仙地域孤独・孤立対策活動団体基盤強化とネットワーク化事業」 地域課題： 東日本大震災由来の交流や見守り支援活動予算の縮小等で活動が困難になったNPOの活動休止・撤退により「サービスを必要とする住民（以下、受益者）」への支援に支障をきたしている。被災者支援の枠組みから通常活動への移行が必要。</p> <p>目的： ・気仙地域（宮城県気仙沼市・岩手県陸前高田市・岩手県大船渡市）において「孤独・孤立」に関係する活動を行うNPO等に対し、持続可能な組織経営に必要な学びの機会を提供し、団体の基盤強化を図る ・市域や分野を超えてネットワークを構築するとともに、相互研鑽を進め、活動のさらなる活性化と能力向上を行う ・中間支援組織の力量向上も行い、自治体を越えた取り組みの継続を図る以上を実施することで、気仙地域の孤独・孤立予防の担い手育成を図り、行政単位を越えたネットワークのモデルを構築する。</p>
<p>2. 具体的な取組内容</p> <p>1. 「気仙地域孤独孤立対策ネットワーク会議」の定期開催 活動するNPO等の環境が整備され、孤独・孤立を抱える住民に継続的にサービスが提供できるよう、令和6年度に設立した3地域の市民活動支援中間支援組織で「気仙地域孤独・孤立対策ネットワーク会議」を定期開催した。（計11回開催）</p> <p>2. 気仙地域対象のNPO等向け担い手育成研修、ネットワーキングを実施</p> <p>■ 「分野別研修会」「分野別交流会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none">・2/5（水）「子ども」分野研修開催（会場：陸前高田）・2/5（水）「女性」分野研修開催（会場：陸前高田） <p>※2/28（金）「障がい」分野研修会（会場：大船渡）は、山林火災の影響で中止。</p>

<p>2. 具体的な取組内容（続き）</p>
<p>■「分野横断交流会」※中止 3月中旬の開催の計画を進めていたが、大船渡市山林火災の影響を鑑み中止。</p> <p>■「視察研修」※中止 2月下旬に予定していたが、大船渡市山林火災の影響を考慮して中止した。</p>
<p>3. <u>市域ごとに、NPO等を対象にした組織運営基盤強化講座を開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/24「見通す力（財源と資金管理）」（会場：陸前高田） ・10/25「組み立てる力（事業計画の立て方）」（会場：陸前高田） ・11/13「伝える力（情報発信）」開催（会場：気仙沼） ・1/30「提案する力（企画立案）」（会場：大船渡） ・1/31「推進する力（組織マネジメント）」（会場：気仙沼） ・2/18「育てる力・整える力（人材育成）」（会場：大船渡） ・2/19「巻き込む力（ボランティアコーディネート）」（会場：陸前高田） ・2/20「組む力（連携協働の在り方）」（会場：気仙沼） <p>※大船渡で「見通す力（財源と資金管理）」開催を予定していたが山林火災の影響を受け、中止となった。</p>
<p>4. <u>事業検証、「実施報告書」の作成</u></p> <p>「大船渡市山林火災」による影響で、おおふなと市民活動センターが支援活動を優先して行う状況にあり、気仙地域としての事業検証ができていないことから冊子の作成を見合わせている。（後日、自主財源で作成する）</p>
<p>3. <u>事業の目標に関する客観的な指標の達成状況及びその評価</u></p>
<p>気仙地域の活動団体の基盤強化を目指した講座は、ほぼ計画通り実施され、参加団体からの評価も高かった。内容が経営層をターゲットにしたものであったことから、一般参加が少なく各回とも想定参加者数を下回ったが、4～5人に分かれたグループワークを行い、参加者間の交流も図られるよう配慮したことで地域を越えた関係性構築の一助となった。</p> <p>しかしながら、大船渡で立て続けに発生した山林火災への対応により、予定していた事業が実施できなかった。</p> <p>当該の災害で被災した方々の中には、孤独・孤立化してしまう可能性もあると考えられることから、令和7年度も引き続き気仙地域のネットワーク構築を進めながら、市域を超えた支援体制について考える必要がある。</p>